



岡田さん、坂井さん、玉野井さん(右から)

札幌以北で唯一のおもちゃの病院です。「湯けむり大学で温泉に入りながらたまたま話に出たのがきっかけ」で誕生しました。湯けむり大学とは、町教育委員会が主催して開いている実年世代向けの社会教育講座です。「何か役に立てることないかな」と思って、坂井さんが町社会福祉協議会でボランティア登録したのがきっかけ。風呂談義から気の合う仲間が集まって1万円ずつ出資

のスタートでした。

「横浜に住んでいた時におもちゃ修理のボランティア登録をしていたので、そんなお手伝いならできると思っています。」

開院後1年間に直したおもちゃは39点、患者さん23人。2割ほどは旭川市内から通院してきました。その場ですぐに直ったものは25点、入院治療で直ったのは11点。昔ながらのはと時計とぜんまい巻き柱時計3台という患者さんも。

◇ 開院初日の手術はラジ

コン車、水鉄砲、木の人形の3点でした。「断線して音が出ないラジコン車」「動かない水でつぼうはピストン折損」「首が折損した木の人形」。どれもすっきり完治しました。幼児センターの絵本も今までに39冊修理しました。壊れて使えなくなったおもちゃや縫いぐるみ。でも子どもたちにとっては大切な宝物。だからこそ新しい命を吹き込み、「大切に使う、大切な宝物にいつばい思い出を残してほしい」と願いを込めます。

今のスタッフではなかなか直せないものもあります。それは縫いぐるみ。縫製できる新しい仲間を募集中です。

「おもちゃの病院」は、おもちゃ病院連絡協議会「おもちゃ

今、生き生きとのおもちゃの病院ひがしかわ

完治率90%という好成績。毎月1回外来診療を開き、診察をしています。隣りのこりんから依頼を受け、幼児センターにも時々往診に出かけます。絵本の修理もお手のもの。直ったおもちゃをうれしそうに持ち帰る子供たちの笑顔に励まされ、今日もやすりとはいんだこてを手に手術に奮闘しています。

美術館(東京都中野区)内、松尾達也会長に加入して、おもちゃ修理のボランティア活動をしている全国共通の病院名です。京都、滋賀、愛媛、高知4府県を除く各地に約千人のドクターが登録しているそうです。道内では、ほかに札幌5団体(9カ所)、釧路4団体、函館1団体が活動しています。

おもちゃの病院ひがしかわ(坂井敏明代表)／
連絡は東川町社会福祉協議会 ☎82-7505 (ふるさと交流センター1階)



昨年5月誕生。毎月第3土曜日、ふるさと交流センター(東町1丁目)で外来診療を受け付けています。

代表の坂井敏明さん(71)は、横浜市出身。電動部品製造メーカーを退職後、2年前に横浜から移住。

岡田紘一さん(70)。西興部村出身。事務局担当。長く農業改良普及員として道内各地を転勤し、主に畑作物の営農技術指導を担当してきました。2001(平成13)年から分譲開始した第三地区の菜園付き優良田園住宅第1期移住組。

藤田雅之さん(68)。東川町出身。会計担当。町内の建設会社、藤田組に長く勤務後勇退。「分解すると何とかなる」と難しい手術や小さな部品の手作り製作もこなします。この病院の外科医的存在=6分の写真左=。

玉野井龍介さん(61)。大分県出身。広報担当。安城市(愛知県)の自動車部品メーカーを退職。2年前に旭川周辺の移住下見ツアーに参加し、東川に移住。機械、電気部品手術などの外科、内科担当。